

当院に最新鋭 80列マルチスライスCTが導入されました。

最新型のCTでは、下記のような検査が新たに可能になりました。

当院では最先端技術を搭載した80列マルチスライスCTを導入し、撮影時間の大幅な短縮と、より小さな病変の検出能が高くなりました。全身の高精度な断層（輪切）像や立体（3D）像も容易に得られ、頭部・腹部の血管、胸部のより詳細な状態の撮影も行えます。地域医療に貢献し、患者様に優しい医療を目指して行きます。詳しい検査内容に関しては、当院にお気軽にお尋ね下さい。

- 80列超高速撮影により息止め時間が大幅に短縮しました。
- 精密検査時の苦痛や造影剤の量も低減可能となりました。
- 最も薄い0.5mmスライス厚で撮影することにより小さな病変の検出能が高くなりました。
- 被ばく線量の低減を、最新の被ばく低減技術により可能となりました。

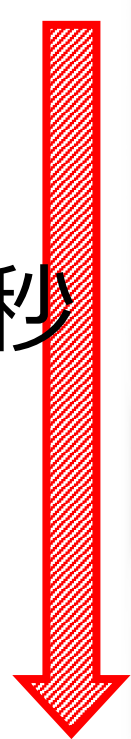


キヤノン社製 80列マルチスライスCT

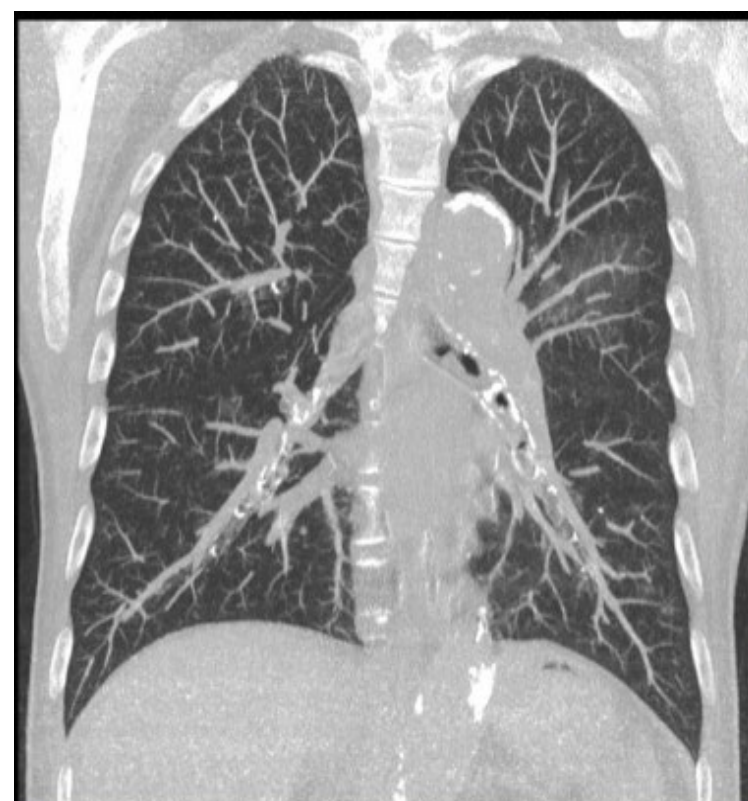
旧16列CT

最新型80列CT

約15秒

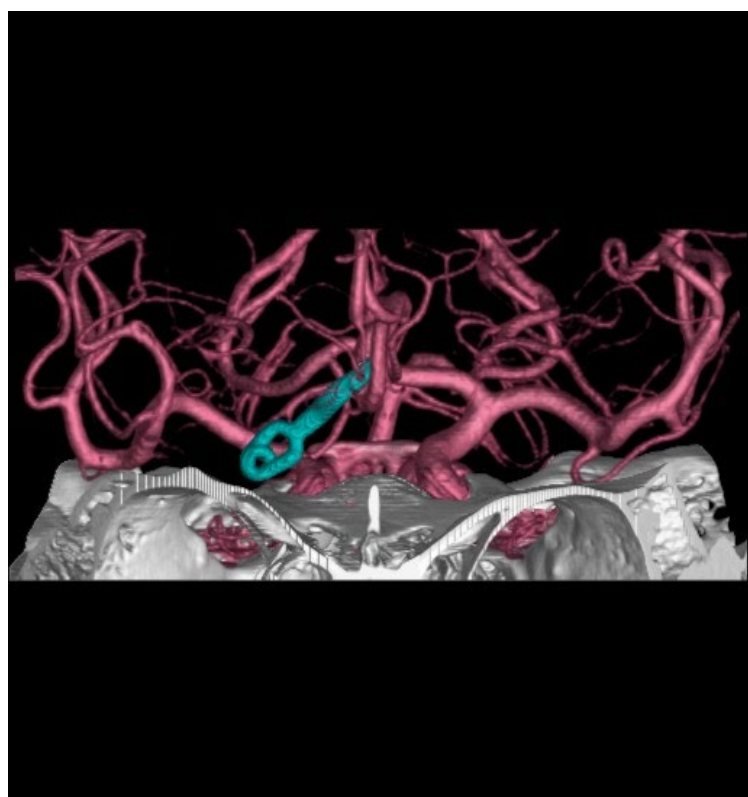


約3秒



胸部のCT精密検査（0.5mm撮影）の息止め時間を比較してみると一目瞭然（範囲は30cm）。今までより患者様に優しい検査を受けていただけるようになりました。

肺全体を360度回転して撮影を行いますので、死角がなく従来よりも小さな肺がんも早期に発見することができます。



造影剤という薬品を腕から注射しながら、頭部血管の精密検査や、頭部の血流量等の詳細を検査する検査も新しく可能となりました。



頭部検査と同様に造影剤という薬品を腕から注射することで、腹部血管や下肢の血管の精密検査も行うことが可能となりました。